プログラム名	伝統の赤、「紅（べに）」を知ろう～つくる技とつかう心～		
団体名	紅ミュージアム	区分	講 リ
対象者	小 中 高 コ	対象分野	学校 学外 研修

プログラムのねらい

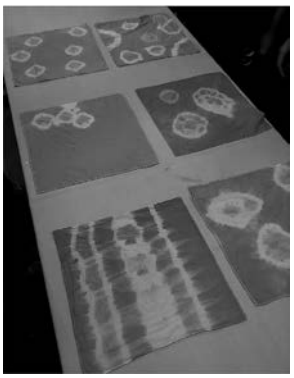
江戸時代創業の紅屋が講師となり、紅花から作られる「紅」について学ぶことで、日本の伝統文化や江戸時代の歴史に興味をもつきっかけ作りをします。また、まるで理科の実験のような紅づくりの工程の説明や紅染め体験を通し、理科・化学への興味も喚起します。スライドレクチャーだけでなく、紅を使った体験もすることで、記憶に残る、楽しい学びとなることを目指します。

プログラムの内容

必要コマ数　1 or 2 コマ

■プログラムの流れ（45 分授業の場合）
①導入（5 分）
自己紹介
本日の流れの説明
②スライドレクチャー（20 分）
スライドとレジュメ（ワークシート）を使用し、
紅の歴史や文化についてお話をします。
・紅花を原料とした紅づくりの技術
・江戸時代の化粧の文化
・浮世絵に描かれるお化粧の謎
・お宮参りや七五三など人生儀礼の中で使われる紅

玉虫色の紅を溶く様子


紅染め体験の成果物

③体験（15 分）
水で溶き、玉虫色の紅が赤色に変化する様子を皆で見ます。
その後、紅を使った体験をします。体験の内容は以下から選ぶことができます。
【紅点し体験】
伝統の紅「小町紅」を点ける体験をします。一人一人発色が異なる様子を体感することができます。（唇でなく、手などに塗ることも可能）
【お守りづくり】 ※成果物の持ち帰り有り
昔から、紅をはじめとした赤色には「魔除けの力」があるとされています。紅を使い、お守りづくりをします。
【紅染め体験】 ※合計 2 コマ必要、成果物の持ち帰り有り
紅花の花びらから染液を作り、ハンカチを染める体験をします。
④まとめ（5 分）

令和 2・3 年度実績	
	☑小学校　☑中学校　☑高校　☐特別支援学校 ☑その他（放課後児童クラブ） 令和 2 年度実績（都内） 6 校（回）　令和 3 年度実績（都内） 16 校（回）
	☑教科（「人間と社会」等）　☐道徳　☑総合的な学習の時間　☐特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） ☑教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等）　☐教員対象研修　☐ PTA 等保護者対象研修 ☑学童クラブ・児童館等のイベント　☐その他（　）

支援活動の概要紹介

当館は、最後の紅屋「伊勢半本店」が運営する企業資料館として、紅づくりの技や日本の化粧文化を後世に伝えていくため、小中高等学校などを対象に教育普及事業を展開しています。上記プログラム（出前授業）のほか、ミュージアムへの受け入れ（展示見学・体験）も行っています。詳しくはお問合せください。※施設の規模が小さいため、受け入れの場合は人数制限あり。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能な限り、交通費及び一部教材費を希望
その他 会場・定員・必要備品などについて	プロジェクターとスクリーンをご用意ください。 体験内容によっては、図工・美術等の備品（もしくは児童・生徒各自の用具）を使用させていただきたいです。 また、【紅染め体験】をお選びの場合は、図工・美術室や家庭科室など、室内に水場がある教室での実施が望ましいです。		

連絡先		
	部署名・担当者	八木原 美佳（ミュージアムエデュケーター）
	プログラム紹介 WEB	https://www.isehanhonten.co.jp/museum/education/
	電話	03-5467-3735
	e-mail	mail@isehan.co.jp